

宝木地区 宝木町2丁目1区自治会

「地域内外と連携した自治会活動」

●加入世帯数：534世帯

●加入率：95.3%

活動内容

宝木町2の1自治会は、平成3年に現在地に公民館を建設し、新しく自治会を創設、現在にいたっています。

地域は、健康の森の北側、高速道路東の静かな住宅地域です。ここは其の昔、群馬県（山崎）から開拓農民が移り住んだと伝えられ、古くは山崎の地名で、現在山崎街道として其の名を残してあります。当自治会には、老人クラブ、育成会が自治会と共に連携し地域活動に精励してあります。主な活動は次の通りでございます。

<甘酒祭り>

毎年11月3日を町内鎮守様の祭礼があり、古来からのしきたりとして育成会や婦人たちによる手づくりの甘酒を振舞う甘酒祭りを行ってあります。この日は育成会などが模擬店を出し、公民館では高齢者がカラオケをするなど楽しい1日を過ごしてあります。

<どんど焼き>

農家の田圃を借りて新年をスタートする「どんど焼き」を行ってあります。育成会が繭玉を作り、自治会役員が甘酒を造り、来た人達に配り、大勢の町民が集まり賑わいを見せてあり、新年の伝統行事として定着してあります。

<青パトの実施（年間）>

隣接の2の2、団地自治会と連携し、地域の方の協力を得て、自家用車に青色の回転灯をつけてのいわゆる「青パト」を実施し、防犯に大きく寄与してあります。

<公民館の活用>

高齢者の閉じこもりをなくそうと、毎月第2、第4日曜日を「カラオケの日」と定め、高齢者によるカラオケを行ってあります。

<役員会の毎月実施>

毎月役員定例会を開催し自治会役員の情報共有と活動の活発化に努めてあります。

加入率を維持する秘訣

当自治会は、近年開発が進み新住民の入居が後を絶たない状況にありす。そこで、開発許可申請の手続きの過程で業者が自治会長を訪ねる機会に、入居者に対する自治会への加入を要請してあり、その効果が出てあります。

住宅新築者、転入者等については、班長からの吸い上げ情報を待って、自治会長はじめ、執行部役員が個々に訪問面接し自治会の活動内容を説明して加入していただけてあります。ただし、賃貸の集合住宅の加入率は極めて低い状況です。